

清新中学校だより 清風

令和2年12月1日
第178号

結果が出ないときは「急がば回れ」

校長 江戸谷 智章

11月に行われた定期テスト中の休み時間のこと。子どもたちの様子をうかがいに校舎内を巡回していたときでした。「ダメだな、オレ・・・」と、数人の生徒と一緒にため息交じりに教室から出てきた生徒がいました。随分と落胆していた様子だったので、「テスト、難しかったか？」と声をかけると、「授業ではなんとかなるんだけど、いつもテストになると・・・」とぼつり。周りの生徒にひやかされながらもそんな彼としばらくの間、会話を交わす場面がありました。

勉強に限らず部活動や個人の趣味に至るまで、目標を立てて取り組んではみたものの、十分な成果が上がらず、かえってやる気が失せてしまったり自暴自棄になってしまったりという経験を誰しもがもっているのではないかと思います。

実は、私も中学校の2年生の頃、どうしても英語の成績が上がらず思い悩んでいた時期がありました。周囲からは「問題慣れすると試験の出題傾向が見えてくるから」などと言われ、問題集を買ってそれなりに取り組んではみたものの、まったくといていいほど理解が深まることはありませんでした。恥ずかしい話、当時の私は、先生や友だちが説明する「二人称・三人称」などの言葉の意味はおろか、問題集の答えを見ても、なぜそれが正解なのかさえもわからない箇所がいくつもあるような状況でした。「将来英語なんて使わないから」と言っただけで自分をなぐさめ、ますます英語から遠のいてしまっていたことを記憶しています。

そんな私でしたが、3年生になりさすがに受験を意識しだした頃、ある雑誌を買いに本屋さんに立ち寄った際に、山ほどある本の中から、なぜか「やさしい英文法」という参考書が目にとまりました。本当に「やさしい」のかと疑いながらもその本を購入し、3年生でありながらアルファベットの大文字・小文字が書かれた1ページ目から読書をするような気持ちで読み出したことを覚えています。すると、英文にはそれなりのルールがあることをあらためて知り（当然、当時の先生たちは教えてくれていたのですが・・・）、それまで丸暗記するしかなかった勉強法が、時間こそかかりましたが積み木を積み上げていくかのごとく一つ一つ理解を深めていく形に変わっていきました。まさに、「学び方を学んだ」、そんな瞬間でもあったように思います。

何事も頑張ることは大事なことだけれど、その取り組み方を間違えると納得のいく結果を出すどころか、自分自身を疲弊（ひへい）させてしまうことも間々あつたりします。特に学習にいたっては、どこからつまづいてしまったのか今の自分の理解度や状況を冷静に見つめ判断し、勇気を持ってこれまでの学習方法を見直し、「急がば回れ」の精神で原点から積み上げていくことも時に有効な取り組みの一つなるのかも知れません。学びに手遅れなどありません。先生たちもいつでも相談にのってくれるはずですよ。



12月の主な日程

※下記の日程につきましては、今後変更が予想されます。ご了承ください。

12月

- 1日（火）進路三者面談④
- 2日（水）PTA実行委員会
- 3日（木）諸活動なし
- 5日（土）さがみはら生徒会長会議
- 7日（月）諸活動なし
- 8日（火）生徒会中央議会
- 10日（木）諸活動なし
- 11日（金）ときわぎフェスティバル
- 14日（月）諸活動なし
- 17日（木）諸活動なし



- 21日（月）1年学期末OT
学期末面談 諸活動なし
- 22日（火）2年学期末OT 学期末面談
- 23日（水）3年学期末OT 学期末面談
- 24日（木）大掃除 学期末面談 諸活動なし
- 25日（金）2学期終業式 諸活動なし
- 26日（土）冬期休業～1月5日（火）
- 29日（火）～1月3日（日）学校閉庁日
- 1月
- 6日（水）3学期始業式 諸活動なし

想いをつなげる 新旧生徒会長あいさつ

前生徒会長 水戸部 飛香

今年度も生徒会活動にご協力いただきありがとうございました。

私たち旧生徒会本部役員はコロナの影響で大きな活動ができませんでした。清学祭体育の部は学年ごとに行われることになり、合唱の部は中止になりました。また、今年予定されていた50周年記念式典も中止になってしまいました。せっかくの50周年を全校で祝えないのは残念でしたが、今後発行される記念誌や様々な取り組みを通じて祝えたらいいなと思っています。

私たちが生徒会本部として活動を始めた時に、「一人ひとりが持っている意見が全生徒に届き、全校で検討しやすい学校にする」と伝えました。そのためにダイレクトメッセージの改良や生徒総会の仕組みを変えることなどについて考えていましたが、思うようにその取り組みを行うことができませんでした。清新中は今、変化の時を迎えています。何年も前から先輩方が土台をつくり少しずつ変わってきました。来年度からは制服も替わります。そのような中で大きな仕事ができなかったことは悔しくないと言えば嘘になりますが、新生徒会本部の皆さんにその思いを託したいと思います。

新生徒会本部の皆さんの選挙スローガンには、改革やチャレンジといった言葉が入っていました。変化している清新中にぴったりだと思います。生徒一人ひとりの意見を取り入れて、より良い清新中にしていき、変化のバトンを次の代にもつないでいってほしいです。



コロナの影響でできなかった事もあれば、新たに学んだこともあります。例えば、普通の生活を送れる事へのありがたみや自分たちで一から計画し成し遂げた時の達成感です。コロナによる休校期間を通して、毎日当たり前のように日常生活を送れていることが当たり前ではないことを知りました。中止になった修学旅行の代わりに、3年生では自分たちで一から計画して文化祭を行いました。たくさんのハプニングに見舞われながらもクラスで団結して素晴らしいものをつくりあげることができた感動は、一生心に残っているものと思います。私たちが活動できたのは全校生徒の皆さん、先生方、保護者・地域の方々の支えのおかげです。これまで学んだことを胸に今後も頑張っていきたいです。本当にありがとうございました。



新生徒会長 玉代勢 りりあ

保護者の皆さま、はじめまして。この度生徒会長に就任した玉代勢りりあです。そして生徒の皆さん、あらためて選挙期間中は私の話を聞いていただきありがとうございました。まだまだ未熟ではありますが、精一杯、職務を全うさせていただきますので宜しくお願いします。

さて今年、清新中学校は開校50周年の節目の年を迎えました。今から50年前は1970年。どんな年か気になったので調べてみると、かの有名なシャンプーのメリットや誰もが一度は遊んだことがあるであろうトミカが発売されたり、ケンタッキーが日本に初出店するなど、私たちにも関わりの深い出来事が多く起こっていました。しかも、この年の甲子園は東海大相模が優勝していました。

清新中学校の歴史は、日本のケンタッキーと共に始まったと思うと少し誇らしくなりません。なんて、ここまで長い長い導入部分を話してきましたが、私が何を言いたかったと言いますと、この節目の年を「変革の年」にしませんかということです。これまで先輩方が築き上げてこられた土台をもとに、様々な改革を行いたいと考えています。その中でも、特に私が変えたいと思っていることが委員会です。この前の全校集会でも話をしたとおり、私は委員会は生徒会よりも重要な存在であると考えています。例えば、委員会がなければ清学祭は実施できません。それ以外に私たちの約束も委員会がないと成り立ちません。でも、そこで終わりにしてしまったらダメだと思います。チェック活動やら何やらはクラスで係をつくれればできてしまいます。せっかく様々な委員会があるのだから、それぞれの特色を生かした活動をもっと活発にしたいなと私は思います。

ここまで私の考えばかりを話していききましたが、生徒会本部には様々な考えを持った人が4人います。そしてこれから加わるであろう事務局員もいます。この学校を動かすのは生徒全員です。様々な目標から清新中学校を考え、さらに良いものにできたらと思います。

